



校訓「思いやり」

学校教育目標 やさしい子【情操】 かしい子【創造】 やりぬく子【意志】 元気な子【活力】

めざす子どもの姿 心身共に健康で、自分や人・手良を好きになり、友と共に学び続ける手良の子ども

## 笑顔

## みんな好き

## 学び続ける

### 本校の児童の良さ

- ・素直で明るく元気
- ・学年を越えて遊び学ぶ
- ・与えられた課題に真面目に取り組む

### 保護者・地域の願い

- ・学校に楽しく元気に行ってほしい
- ・確かな学力の定着 ・一体感のある学級
- ・学年を越えた交流を活発に
- ・大規模中学校に行っても適応できる力を
- ・手良を誇りに思ってもらいたい

### 重点1

体験を通して学ぶ健康教育や、手良の良さを体感する活動を展開することにより、家庭や地域とのつながりを深めます。

#### ■歯と口の健康学習に取り組みます

- ・生きる力をはぐくむ歯と口の健康づくり
- ・家庭、保育園、公民館等との連携
- ・食育(食農教育)や運動と関連させた健康づくり

#### ■自分の体への理解を深め、体力づくりを進めます

- ・体力テストや保健データ等を基にした健康や体力の保持増進
- ・体育科授業や保健指導の工夫と改善

#### ■地域とのつながりを活かした学習や地域、保護者の支援による教育活動を充実させます。

- ・地域を活性化させる手良太鼓
- ・「親子ふれあい活動」「親子トンカチ教室」
- ・地域を題材とした体験活動や郷土館の活用
- ・地域教育力の活用(安全見守り隊読み聞かせ等)

### 重点2

自分と他者を大切にし、認め合い高め合うことにより、自己肯定感をもち、協同する人間関係づくりを進めます。

#### ■安心して学べ、一人に確かに届く学級づくりを進めます

- ・良さを認め合う場の設定と一人ひとりへの共感的理解
- ・あいさつや歌声が響く学級づくり
- ・自己決定力を高める活動の充実

#### ■道徳・人権同和教育の充実を図ります

- ・相手の立場に立って考えられる共生社会、多様性への理解
- ・「聴く」ことを大切に、思いやりのある心の育成

#### ■仙丈グループ(縦割り班)活動の充実を図ります

- ・創意工夫した仙丈の時間の多様な活動
- ・協同して社会性を育む「秋の自然に親しむ日」の実施

### 重点3

課題解決する力を身につけ、未知の状況にも対応できる資質・能力を育てます。

#### ■「できた」「わかった」「楽しい」授業を実践します

- ・自分の問いを大切にした主体的・探究的な学び
- ・失敗やつまずきを共有し高め合える協同学習
- ・「Today's Goal(つける力)」の明確化と確かな見とどけ
- ・部分教科交代制の授業実践

#### ■ICT機器を活用し個別最適な学び協働的な学びを進めます

- ・一人一台のiPadの効果的な活用
- ・主体的に学びを発信する情報活用能力の育成

#### ■個に応じたドリル学習や家庭学習(主に自主学習)を進めます

#### ■授業力向上のための職員研修を継続的に行います

- ・一人一公開授業 ・個人課題の設定と実践 ・地域研修

### 校長の学校経営ビジョン

○より多くの視点で児童一人ひとりを見て、一人の子どものことを多くの教職員で語り合い、自己肯定感をもてる児童を育てます。

○児童のメタ認知能力を育成したり、職員が授業改善に努めたりすることによって、児童が明確な課題をもって、主体的で探究的な学びのある授業をめざします。